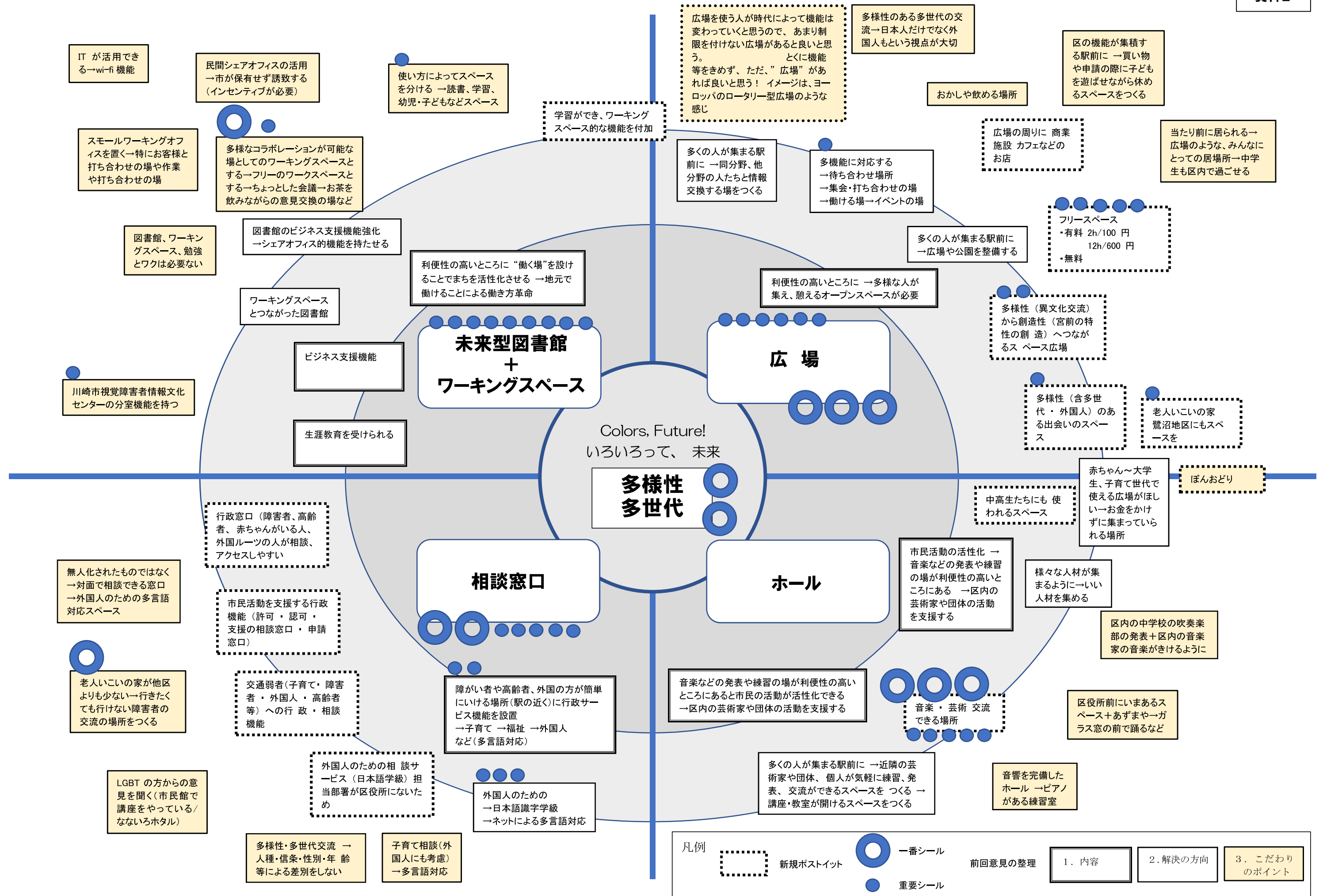
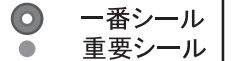
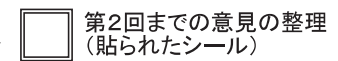






ベッドタウンから生活する街へ 皆がずっと住みたい、毎日楽しいさぎぬま

ベッドタウンから生活のある街へ

一日過ごせる

皆がずっと住みたい街

毎日楽しいさぎぬま

●安心感とクオリティ
が確保された駅前●生活を後押しする
・働く場
・集う場
・学ぶ場 がある皆が10年後
の夢を生み出
せる空間・場

ダイバーシティ



1. 内容

鷺沼駅周辺再編整備を踏まえ、駅周辺に求めるもの

2. 解決の方向

求められる機能の内容・空間のあり方

3. こだわりのポイント

配慮すべき点や、鷺沼駅周辺であることの
メリットの活用・課題への対応

4. 実現に向けた方向性

今後のプロセス・役割分担など

働く場

利便性の高いと
ころに”働く”場を
設けることでまちを
活性化させる多様な人々が使
うシェア、ワーキ
ングスペース（空
間、道具、コラ
ボレーションを
シェアする）昼間人口を増やす
どうしたら鷺沼
で昼間楽しく1日す
ごせる
→ポーツと出来る
場所がない再開発ビルの中
にレンタルオフィ
スを作ってもらさぎぬまで働く さ
ぎぬまでお金を使
う非常に混雑の激
しい田園都市線
に乗らなくとも働
けるさぎぬま屋間に活動できる
場を作る市民活動は収入
につながりにくい利便性が高く、使
いやすい場所に団
体同士の交流がで
きる機能があると
活動が活性化するちょっと話せる場
所がない
→ちょっとした打
ち合わせなどがで
きるスペースが適
当
→鷺沼にあれば
便利使い方を利用者
が選べるスペース人材、アイデア、
クオリティが集まる
空間駅前に（川崎市民
用の）ワーキ
ングスペースをつ
くるサテライトオフィス
（個人が使いやすい）再開発ビルの中
にレンタルオフィ
スを作ってもらシェアオフィス
企業とは違う、
個人の場個人が自分のオ
ケを活かせる場レンタルオフィス
・様々な広さ（値段
も変わる）
・気軽に借りられる
・仕切られている事務所だけでは
足りない
色々楽しめるよう
公園・休めるス
ペース等があると
よい
ポーツとすごす賑わいが生まれ
るワーキングス
ペースとする多世代が共有す
る（家族や個人
ではできないこと）利用者が交流や親
睦ができたり、コラ
ボできるようなワー
キングスペースと
する子育て中の人が
使いやすい→ワーキングス
ペースをつくるこ
とにより、宮前区
がさまざまな人材
が集まるようにす
る時間、場所を自
由に選べる働き
方（将来の働き
方）→民間シェアオ
フィスの活用シェアの実現法
→どうしたら活動
を共有できるの
か？根拠
→なぜそれが欲
しいのか・必要
だと思うのかフリースペースは
管理が大変では
ないか
→NPO と連携し
た運営
→登録制にするオープンスペース
はフリーに。閉
鎖空間は登録し
た区民に
→安全が確保で
きるもっと具体的な検
討

市民活動

多くの人が集まる
駅前に、子どもや
若者、高齢者が
安心して気軽に来
られ、時間を過ご
せるスペースをつ
くる市民活動は収入
につながりにくい利便性が高く、使
いやすい場所に団
体同士の交流がで
きる機能があると
活動が活性化するちょっと話せる場
所がない
→ちょっとした打
ち合わせなどがで
きるスペースが適
当
→鷺沼にあれば
便利1日過ごせる
→様々な過ごし
方があるので、機
能が色々あるとよ
い→マシン、キッ
チン、ピアノ、工
具など機能のある
スペース→マシン、キッ
チン、ピアノ、工
具など機能のある
スペース→マシン、キッ
チン、ピアノ、工
具など機能のある
スペース・工具がある
・知恵
・コーディネート
・ノウハウが集積
されているとよ
い。支援体制整備→市民活動セン
ターの小規模版
かつ登録等も不
要なスペースがあ
ると便利市民団体情報の
蓄積が重要もっと具体的な検
討オープンスペース
はフリーに。閉
鎖空間は登録し
た区民に
→安全が確保で
きる

多世代

多くの人が集まる
駅前に、子どもや
若者、高齢者が
安心して気軽に来
られ、時間を過ご
せるスペースをつ
くる市民活動は収入
につながりにくい利便性が高く、使
いやすい場所に団
体同士の交流がで
きる機能があると
活動が活性化するちょっと話せる場
所がない
→ちょっとした打
ち合わせなどがで
きるスペースが適
当
→鷺沼にあれば
便利1日過ごせる
→様々な過ごし
方があるので、機
能が色々あるとよ
い→マシン、キッ
チン、ピアノ、工
具など機能のある
スペース→マシン、キッ
チン、ピアノ、工
具など機能のある
スペース→マシン、キッ
チン、ピアノ、工
具など機能のある
スペース・工具がある
・知恵
・コーディネート
・ノウハウが集積
されているとよ
い。支援体制整備→市民活動セン
ターの小規模版
かつ登録等も不
要なスペースがあ
ると便利市民団体情報の
蓄積が重要もっと具体的な検
討オープンスペース
はフリーに。閉
鎖空間は登録し
た区民に
→安全が確保で
きる

図書館

大人と子どもで機
能をわけることが
必要調べる（本、資
料）・読む（新聞・
雑誌）、聞く（読
み聞かせ）、勉
強する（ミニ講座）
のある図書館調べる（本、資
料）・読む（新聞・
雑誌）、聞く（読
み聞かせ）、勉
強する（ミニ講座）
のある図書館調べる（本、資
料）・読む（新聞・
雑誌）、聞く（読
み聞かせ）、勉
強する（ミニ講座）
のある図書館世代別のニーズに
合わせた図書館機
能を整備する本に出会う（活
字）最後の場が
図書館だと感じるお茶を飲みながら
本を読むなど、
豊かな時間を過
ごせるグランツリー武蔵
小杉（民間）＋中
原図書館 子ども
が遊べて本がある
。鷺沼に欲しい大人も子どもも居
心地が良い図書
館機能とする→大人と子供の
スペースを分ける→子どもには、
読み聞かせ、お
話し会等ゆっく
りと時間を気にせ
ず過ごせる場所と
するクローズしている
空間とオープンな
空間を織り交ぜ
ると大人・小人
の両方が使いや
すいブランド化
→具体的には？

集う場

ホール（現在）
・行きにくい（坂）
・音響がわるい
・構造上問題がある
（駐車場からのアク
セスがわかりにくい）スペースに限りがある
→既存の低・未
利用施設と連携スペースに限りがある
→既存の低・未
利用施設と連携スペースに限りがある
→既存の低・未
利用施設と連携駅前に音楽の発
表や練習ができ
る音響がしっかり
したスペースをつ
くる音響を完備した多
目的ホールとする大きな音が出せ
る（太鼓、エレ
キでも）大きな音が出せ
る（太鼓、エレ
キでも）→大ホール・小ホ
ールがある
・駅から近い
・わかりやすい配
置計画
・ギャラリー・会
議室もあるとよ
い
・音響もよく一方的に聴くだけ
ではなく、自分が
演じられる、主
体的に使える音
楽ホール

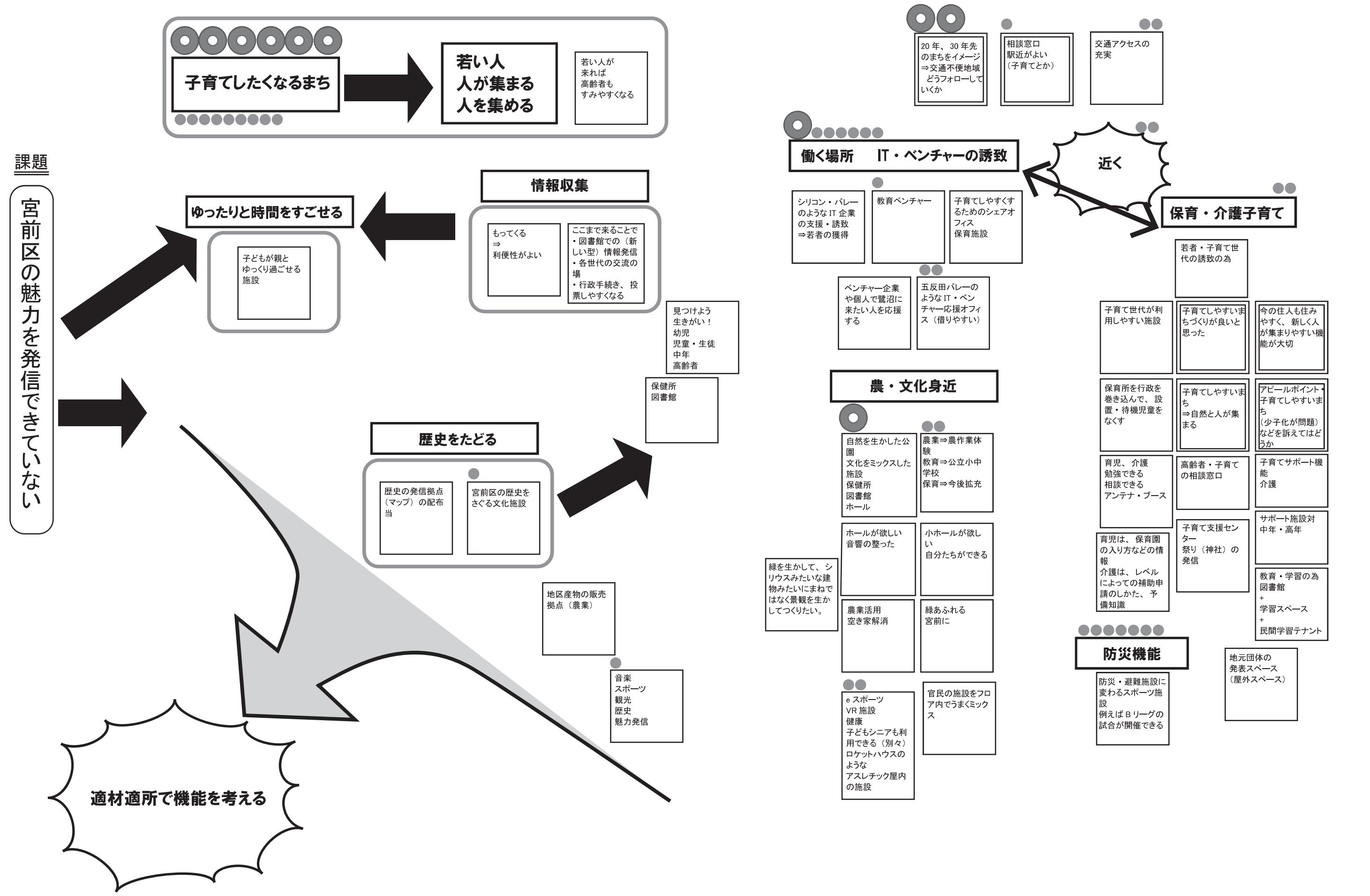
練習できる場所

練習できる場所

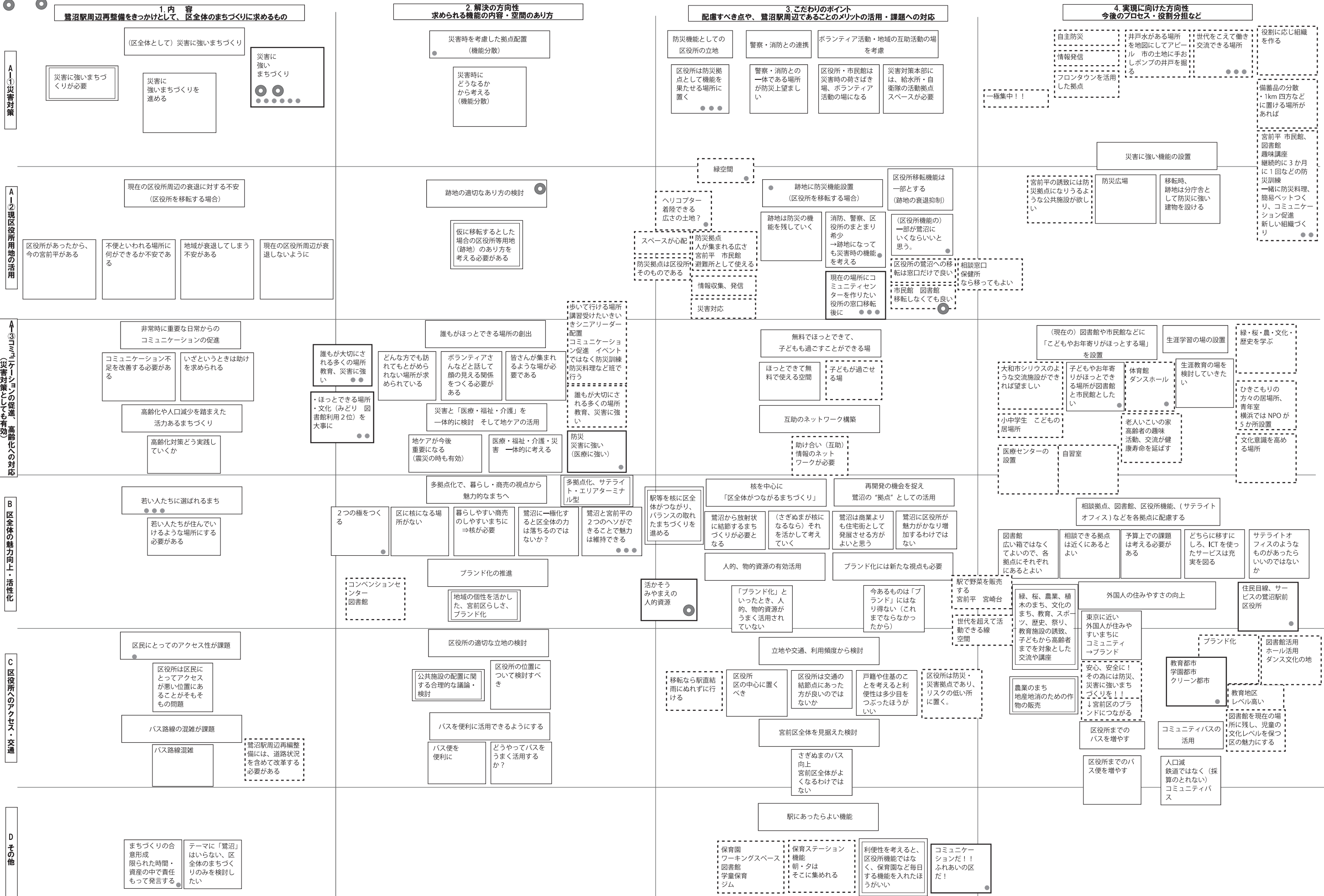
知育的な遊具の
ある遊び場（便
利なところに屋内
で雨の日も遊べる）地域子育て支援
センターさぎぬま
は、利用者が減っ
ているので連携し
て使えないか。親にとっての利便
性の高さと、子
どもにとっての環
境を考えた終日
保育への対応が
必要一時保育等への
対応が必要幅広い選択肢で。
無理なく楽しい理
想の子育て子どもの遊べる場所
・床が柔らかい
・小さな遊具
・親が買い物のつ
いでに連れていける
・雨の日にも安心し
て遊べる場所駅の近くに子供
の一時預かり（保
育室・学童保育）駅前に乳幼児が
利用できる子育て
支援センター一駅前に保育園
の送迎ステーショ
ンを作る一駅前に保育園
の送迎ステーショ
ンを作る送迎ステーションは
いいが、園の先生
と保護者が毎日顔
を合わせなくなる
（という課題がある）親にとっての利便
性だけでなく、子
供にとっての環境
（静かさなど）を
確保する

園の質の確保

保育園は必ずしも
駅に近い必要は
ない
→駅から保育園
への送迎機能が
あるとよい



防災、コミュニケーション、教育、緑を大事にしてブランド化につなげる



人にやさしく、まるく、近くなるさぎぬま

1. 内容

鷺沼駅周辺再編整備を踏まえ、駅周辺や宮前区の
交通・アクセスに求めるもの

2. 解決の方向

求められる機能の内容・空間の在り方

3. こだわりのポイント

配慮すべき点や、鷺沼駅周辺であることの
メリットの活用・課題への対応

4. 実現に向けた方向性

求められる機能の内容・空間の在り方

凡例

キャッチフレーズ
(サブ)

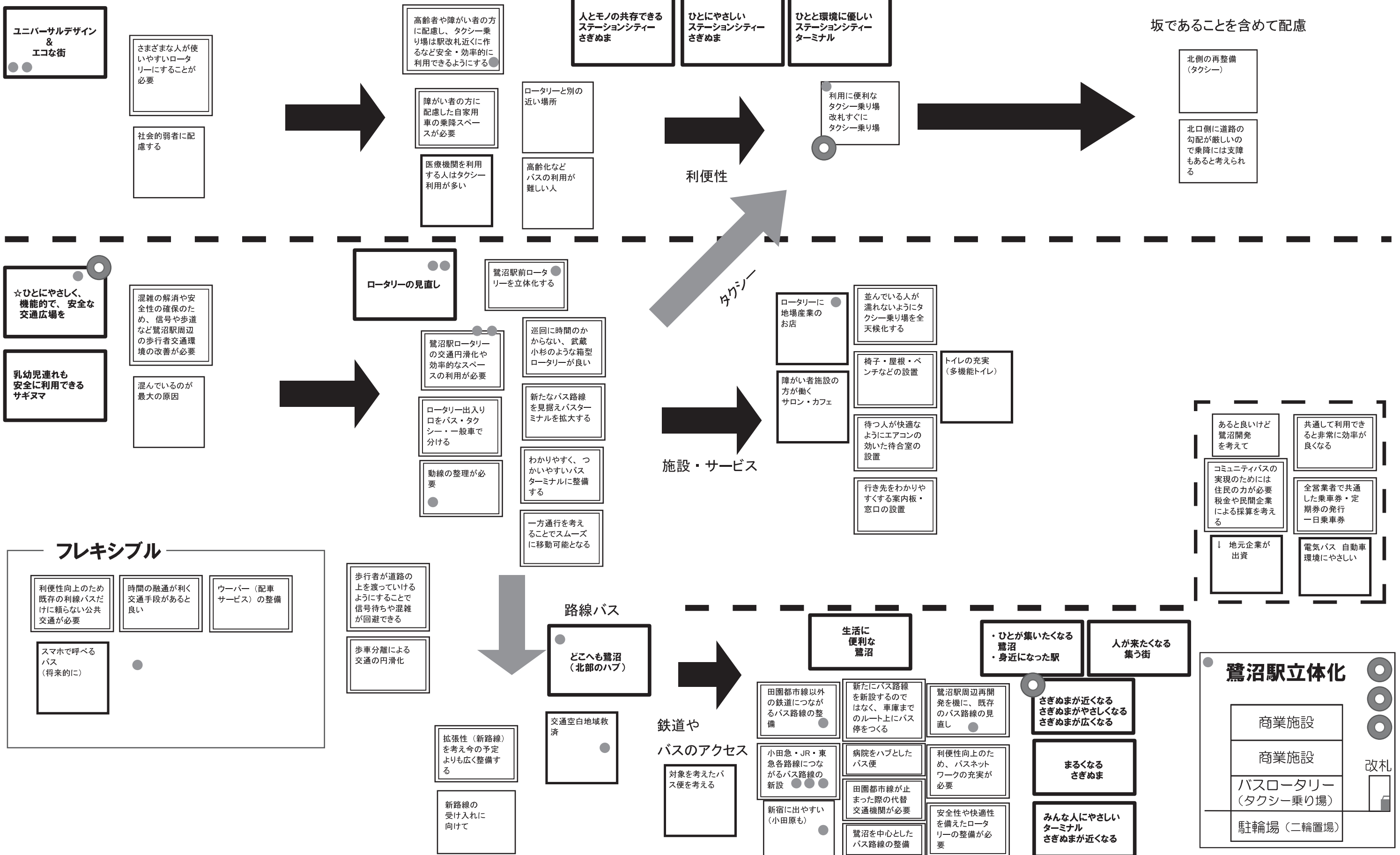
第4回での意見



第3回での意見



第2回までの意見の整理

一番シール
重要シール

Fグループ(検討の進め方)

凡例



第4回での意見



第3回での意見



第2回までの意見の整理

一番シール
重要シール

1. 内容（問題点・課題）

より多くの区民の意見を聴き、反映することが必要

2. 解決の方向

みんなが知る状態を目指すべき

町内会で説明しても知らない人がいる

役所の中で周知についてのマニュアルはあるのか？
→団体ヒア、フォーラム、ワークショップ、フルでやっている

学校で先生から子どもの意見を聞く
子どもからアンケートをとる

子どもたちがまちづくりを話し合うことは大切

子どもたちの意見を聴く(小、中、高、大)

行政として、100%知らせることを目指すべき(原点)

町会に加入していない人が情報に触れる機会を増加

3. こだわりのポイント

より多数の区民の意見を聴く

回覧板に変わる仕組み
ポスティング等

知っている人・知らない人(対立を生む)
→より多くの人に知ってもらう情報提供
町内会に入っていない人にどう伝えるか(原則、町内会に入っている人に配布物を配っている)
町内会にも入っていない人もいる(情報が入りにくい)
(新住民入っていない)

各家庭に知らせる資料を役所で用意すべき(知らない人はいっぱい)
回覧板はNG

各段階で市民意見をつづけて聞いてほしい

中間フォーラムの意見を反映すべき(防災)

みんなの街
市民参加のまちづくり
長く使っていくまち
努力をして続けてやっていく(聞くこと)

アンケートの数を増やしてほしい(2000名でなくもっと)

4. 実現に向けた方向性

Tel にメルアド登録して、市の情報を発信

市民参加の進め方の継続

市政だより(特別号とかで目立つように)
町会入っていない人にもどのように

町会に入っていない人にも、市政だより等の送付を徹底

情報公開のあり方(データの整理)

生活に切実な意見・活発な意見があるので、わかりやすい、あたたかい言葉でメリット、デメリットを示す(今の資料がわかりにくい)

現状の子どもたちの居場所を知り、使い勝手を考慮すべき

効果的な情報提供が必要(必要な情報がうまく伝えられていない)

市民に公開の仕方をわかりやすく(分類)

行った場合、行かなかった場合のメリット、デメリットをまとめる(一覧にして)
東急に伝えることをまとめる(一覧にして)
より多くの区民の意見をきいたので

事業者と市民で前向きなビジョンを話し合う

事業者と連携した検討の場を設ける

東急(事業者)も一緒にワークショップをやってほしい

事業者、市、市民の役割?(連携の考え方を)

わかりやすくすると片寄ったデータにみられることもある(主観が入ってしまう)
アンケートをありのまま提示(客観的に示す)

区民の対立を避けたい(生活がかかっている)

よりいいプロセスが必要

検討結果がどのように反映されるのかを明らかにする

IT(ツイッター、FB)を活用する
デジタルサイネージの活用

新しい技術の活用

町内会で結果を回す(紙)

市政だよりをマンションが登録しなくても届く仕組みを考える

検討結果を公表し、区民の判断材料とする

キャッチフレーズ(F)

限られた期間における、効果的な情報発信と、意見の吸上げ、継続的な市民参加、その集約、結論のまとめに向けた努力

検討の期間が短い

検討時間が短い場合の検討のあり方

必要な期限の中で

スケジュールに合わせた検討を十分に行っていく

区民意見を適切に反映できるようなスケジュールとする